

第1回にりんそう保育園三者協議会 意見・質問まとめ

質問1 コットについて、少し高さがあるように写真からは見受けられるが、コットから落ちてしまう事例はあるか。また、そういった事故が起こらないように工夫していることはあるか。

【回答】

コットは、中のメッシュ部分がほどよい軟らかさになっており、子どもが横になると少し沈む形になるので、落ちてしまう心配はない。既存の園でも落ちたという事例はない。

質問2 民営化後の人員配置についてはどうなるのか。

【回答】

単純な常勤保育士の人数のみで比較すると、現在のにりんそう保育園が、1歳児10名・2歳児15名の定員に対して、1歳児クラス担任4名・2歳児クラス担任4名・フリー保育士1名となっており、保育士1人あたりの園児数は約2.7名。民営化後の配置予定では、0歳児12名・1歳児15名・2歳児15名の定員に対して、0歳児クラス担任4名・1歳児クラス担任3名・2歳児クラス担任3名・フリー保育士6名となっており、保育士1人あたりの園児数は約2.6名。また、保育補助員に関しても民営化後のほうが手厚くなっている。

※人員配置に関する詳細については、園に設置してある議事録をご覧ください。

質問3 民営化した際のメリットやデメリットについてあれば教えてほしい。

【回答】

メリットについては、現在板橋区と協議中のため、実現できるかは未定だが、英語やリトミック、体操、スイミングなど、外部の専門業者に依頼して特別保育を提供する予定。また、「手ぶら保育」というものを導入予定で、簡単に説明すると、お着替え5セット・靴下3枚・お手拭き5セットを持ってきていただければ、全て園内で洗濯、乾燥、管理をさせていただき、普段はお子さんと来るだけでいいサービス。その他、オムツのサブスクなども実施予定。

デメリットは、公立保育園のようなスケールメリットがないこと。

質問4 0歳児室が一番広がっているのはなぜか。行動範囲の広い2歳児を広い部屋にした方がいいのではないか。

【回答】

子ども1人あたりに必要な面積として、0歳児が1人当たり3.3㎡で、2歳児が1.98㎡となっているので、一番広い部屋を0歳児室として使用する予定。ただ、実際に保育をしていく中で、部屋の変更など柔軟に対応していきたい。

質問5 保育士数を増やしてほしいなどといった希望が保護者から出たときに、検討してもらうことは可能か。

【回答】保育園を運営していくうえで、毎年監査が入る。その監査で赤字が継続してしまうのはダメなので、赤字にならないように職員の採用・育成を行っている。そのことを踏まえると、今以上の職員を配置することは難しいと考えている。

質問6 ヒヤリハットの事例があったときにはどう対応しているか。

【回答】既存の園では必ず送迎の時に伝えるようにしている。送迎の際に現場対応した職員が対応できない場合もあるので、そういった時は必ず引継ぎをして内容が間違いないようにしている。園内での事例の共有方法としては、一日の中に朝礼や昼礼など職員が集まる時間を設けているので、そこで共有している。

質問7 現在にりんそう保育園で使っているおもちゃは引き継がれるのか。

【回答】おもちゃ等の引継ぎに関しては、現在板橋区のほうで整理しています。セリオとしては、いただけるものは全ていただきたいと考えています。

質問8 保育士の年齢層のボリュームゾーンはどのあたりか。

【回答】現状、動いているところだと若い方は少ない。40代より上の方が多くなってきそうなイメージ。

質問9 保育士の平均経験年数はどのくらいか。

【回答】次回の三者協議会までに確認する。エリアによって差がでてしまうと思うので関東近辺の保育士の平均経験年数を報告する。

意見1 保育園の名称変更を検討しているとのことだが、変更しなくてもいいのではないかと考えている。理由としては、名称変更によって出てくる費用や、職員の方の負担もあると思う。そういったところにコストをかけるのなら、子どもが遊べるおもちゃとかを買った方がいいのではと思う。名称変更についてアンケートをとるとのことなので、その前に名称変更にかかる費用の概算など、判断材料になるものを提供してほしい。

【回答】名称変更して生じるのは、看板の費用のみだと考えている。園名変更しない場合でも看板の変更は必要なので、園名を変更した場合と変更しなかった場合の費用についてそれぞれのデータを提供させていただこうと考えている。